トピックス

■岡山三相電機 新工場建設

本年９月、子会社岡山三相電機株式会社（岡山県赤磐市）の老朽化した工場の建て替えが完了し、地上１階建（建築面積1,909.91㎡）の新工場が稼働しました。

当工場は、成型機、巻線機、生産ラインが配置され、産業機器メーカー向けにモータ・ポンプを生産しております。

今後もさらなる生産性の向上とお客様への供給体制の万全化を図ってまいります。

会社概況

（平成30年９月30日現在）

商　　号	三相電機株式会社
設　　立	昭和32年10月11日
資 本 金	８億7,160万円
従業員数	606名（連結）
事業内容	小型モータおよび小型電動ポンプの製造・販売、金型の製造・販売

株式の状況

（平成30年９月30日現在）

会社が発行する株式の総数	１８,０００,０００株
発行済株式の総数	４,５７１,６００株
株主数	７２０名
１単元の株式の数	１００株

株主メモ

事業年度	毎年４月１日から翌年３月31日まで
定時株主総会	毎年６月開催
基準日	定時株主総会　毎年３月31日 期末配当　毎年３月31日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】
証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。証券会社の口座のご利用がない株主様は、下記電話照会先までご連絡ください。

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関
東京都千代田区丸の内一丁目４番１号
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人事務取扱場所
大阪市中央区北浜四丁目５番33号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

（郵便物送付先）〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目８番４号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

（電話照会先）(0120)782－031

（URL）http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html

公告の方法　当社のホームページに掲載いたします。
http://www.sanso-elec.co.jp/ir/koukoku/

上場証券取引所　東京証券取引所

この報告書は、当社第62期中間の状況をお知らせするものであり、株主総会の招集や配当金のお支払いをお知らせするものではございませんので、ご了承願います。

株主のみなさまへ

第62期中間

株主通信

平成30年4月1日～平成30年9月30日

三相電機株式会社

証券コード　6518

代表取締役社長　黒 田 直 樹

株主のみなさまには、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに2018年度（2018年４月１日から2018年９月30日まで）の営業の概況につきましてご報告申し上げます。

今後とも変わりないご支援、ご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。

平成30年11月

営業の概況

■業績の概況

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、日本各地で発生した自然災害の影響で一時的に景気が下押しされましたが、海外経済の回復を受けて輸出が底堅く維持する中、企業収益や雇用環境の改善を背景として、製造業を中心に設備投資意欲は底堅く、人手不足を背景とした省力化投資も引き続き堅調に推移してまいりました。一方、米中の貿易摩擦により中国経済は緩やかに減速するなど不透明な状況が続いております。

当社グループにおいては、中国市場で空調設備の需要改善の兆しが見えるものの、価格競争は依然として厳しい状態が続いており、更なる利益確保に向け、新たな顧客を開拓し付加価値の増加を図ってまいりました。

日本市場においては、半導体製造装置用ポンプにおいて、一時的にメーカーの在庫調整が見られるものの、半導体需要の拡大傾向は続くものと思われます。また、産業機械用モータでは受注が引き続き堅調に推移しており、国内外ともに原材料コストが高騰する厳しい環境ではありますが、システム商品の販売促進や新市場の開拓に取り組むとともに、生産性向上や原価低減を推し進め業績向上に努めてまいりました。

この結果、当第２四半期連結累計期間の売上高は81億20百万円（前年同期比107.6%）となりました。

営業利益は５億62百万円（前年同期比115.9%）、経常利益は５億81百万円（前年同期比116.2%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は４億２百万円（前年同期比117.2%）となりました。

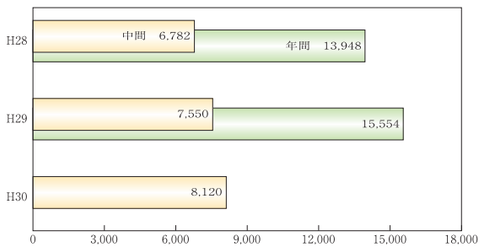
■今後の取り組み

当社グループを取り巻く環境は、市場の動向に合わせた生産対応や、環境問題からくる省エネ製品への要望が強まるなど、企業として柔軟な納期対応や、環境に適合した製品開発の如何によって今後の業績が左右されるものと考えられます。このような状況下において、産業分野で広く使用される三相誘導モータは、高効率IE３モータに続き、さらに高効率化が進められ、IE４、IE５モータの製品開発が求められております。当社グループといたしましても、市場の優位性を築くためにも、実現に向けて取り組むとともに、IoT技術などの新たな取り組みをポンプ関係に採用し、新規の顧客獲得を図ってまいります。また、海外市場にも販路を拡げ市場や顧客が求める以上の新製品を開発してまいります。一方で、国内外を問わず生産拠点の見直しや工法の改善などを実施し、生産効率を高めるとともに、短納期対応を進めてまいります。

連結業績の概要

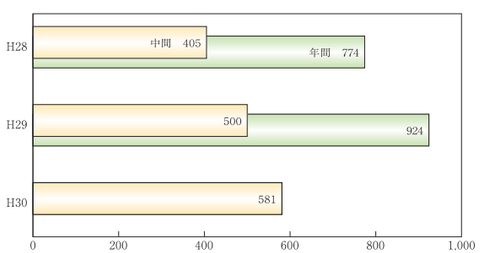
売上高

（単位：百万円）



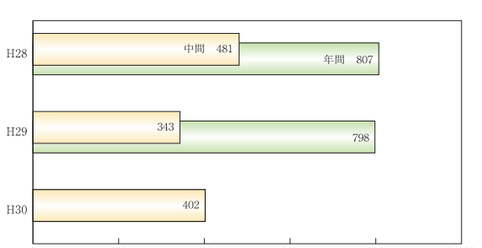
経常利益

（単位：百万円）



親会社株主に帰属する当期純利益

（単位：百万円）



要約連結貸借対照表

（単位：百万円）

科目	（平成30年９月30日現在）
資産の部	
流動資産	10,844
固定資産	6,581
有形固定資産	4,767
無形固定資産	92
投資その他の資産	1,720
資産合計	**17,425**
負債の部	
流動負債	5,489
固定負債	3,077
負債合計	**8,566**
純資産の部	
株主資本	8,500
資本金	871
資本剰余金	1,825
利益剰余金	5,846
自己株式	△43
その他の包括利益累計額	358
純資産合計	**8,858**
負債純資産合計	**17,425**

要約連結損益計算書

（単位：百万円）

科目	（自 平成30年４月１日 至 平成30年９月30日）
売上高	8,120
売上原価	6,347
売上総利益	1,772
販売費及び一般管理費	1,210
営業利益	562
営業外収益	29
営業外費用	10
経常利益	581
特別利益	0
特別損失	4
税金等調整前四半期純利益	577
法人税、住民税及び事業税	179
法人税等調整額	△3
親会社株主に帰属する四半期純利益	402